

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立所沢商業高等学校)

目指す学校像	コミュニケーション力を駆使し、持続可能な社会を担う職業人として知識・技術と豊かな人間性を育む地域に根ざした商業高校
--------	---

重点目標	1 希望する進路実現 (進路指導) 2 基礎学力及び資格取得の向上 (学習指導) 3 基本的生活習慣の確立と生徒が活躍できる場の確保 (生徒指導) 4 地域に信頼される学校づくりの推進 (開かれた学校)
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局 (教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目 (年度達成目標を意味する。) は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策
1	希望進路決定状況は、就職・進学ともにほぼ100%を達成している。大学入試や雇用情勢の変化に柔軟な対応ができる体制を整え、新しい時代に即した望ましい勤労観や職業観、職業人に求められる倫理観育成する必要がある。	新しい時代の即した職業人として、生徒一人一人が主体的に進路決定しているか。また、進路指導の計画的、組織的な確実な実施による進路実現。	①適性検査等のデータを活用して生徒の自己管理能力や自己肯定感を高め進路相談を充実させる。 ②進路相談を適時適切に行う。 ②進路指導プログラムの作業量を意識して、効果的実施に取り組む。 ②これからの企業の在り方や CSR 等のガイダンスの実施。 ③卒業生の活躍状況を含めた進路情報を在校生や保護者提供する。 ③全教員と就職支援アドバイザーによる進路先開拓を行う。	①各種検査結果を活用し、個々の生徒に応じた進路指導ができたか。 ①生徒の自己肯定感等を高められたか。 ②進路プログラムを各学年で計画通り効果的に実施できたか。 ③卒業生の活躍状況等の進路情報提供の方法を工夫できたか。 ③全教員の協力のもと進路開拓ができたか。 ①②③望ましい職業観や企業の責任、職業人として求められる倫理観を高め、進路決定率100%を達成できたか。			
2	生徒アンケートで「家庭学習時間ゼロ」が3.4%減少した。基礎学力の向上と資格取得意欲の高揚とともに家庭学習の習慣化が課題である。学年、各教科での基礎学力向上と検定取得意欲のための取組をする必要がある。	基礎学力向上を向け自主学習時間を増加させ、基礎学力の向上。	①基礎力診断テストを有効活用して、分析等を行う。 ①全校集会や授業で家庭 (自主的) 学習の重要性を伝え、適切な量の課題を課していく。 ②商業に関する各種検定の意義を確実に定着させ、学習意欲を高める。 ③年2回の授業研究週間や学校公開等	①基礎力診断テスト結果の分析会ができたか。 ①家庭学習時間が増えたか。 ②各種検定の生徒の取り組み状況と結果。 ③生徒アンケートにおける学習意欲の向上と基礎学力定着数値の改善。 ③授業研究ができたか。			
3	遅刻数は13.1%減少し、多くの生徒は、基本的生活習慣が確立できているが、様々な問題を抱えた生徒もいる。また、交通マナーや社会規範意識に課題がある。 部活動や生徒会活動など、生徒が活躍できる場と時を確保する必要がある。	在り方生き方教育と全職員による継続的な指導の実施による生徒の社会規範意識の向上。 学校行事や生徒会活動、部活動の改善と充実。	①全職員による登下校・校内巡回・整容・駐輪指導等きめ細かい指導を実践する。 ①交通マナー、SNS指導、在り方生き方教育に外部講師等を活用して実施する。 ①新入生部活動全員加入の実施。自主的運営の学校行事や委員会・部活動の効率化と活性化を図る。	①遅刻延べ数360名以下、出席率の向上。保護者アンケート・学校懇話会での評価。 ②生徒アンケートによる自転車乗車マナー等が向上したか。 ①部活動の活躍状況、生徒会・委員会・学校行事の取組状況。(アンケート結果)			
4	昨年度、定員割れになった。本校教育活動の広報方法を検討する必要がある。 近隣の学校関係諸機関と地域の方々の協力を得て、その教育力を生かす必要がある。	志願者数増加 保護者・学校関係者等との協力体制強化。	①中学校訪問や学校公開、学校説明会等の内容の工夫改善する。 ②地域の方々とさらなる連携により、本校の魅力・特色をアピールする。 ③学校HPの随時更新及びリーフレット作成・配布を工夫する。 P T A ・後援会・同窓会、地域との協力体制を整える。	①志願者数が増加したか。 ②体験入学、学校説明会参加人数状況。 ③「所商ブログ」やホームページを70回以上更新と内容充実 ①学校関係者から協力を得られたか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	